

フィードバック分析研究会 第1回

主 催： ドラッカー学会東海支部 H S 三河

日 時： 2008年4月14日（月）

場 所： 愛知県西尾市緑町四丁目24番地

鈴木会計事務所内 理念会計研究所 会議室

参加者： ドラッカー学会会員： 内田，鈴木，長坂，番場，和田

一般： 4名

（計9名）

今回のテーマ

- ・研究会の目的の確認
- ・研究会のすすめ方の決定

研究会の目的

一般参加者のためにドラッカー学会の紹介。

東海支部の方針（支部会員それぞれがCEOであるべき。各々勉強会・読書会を主催する）、H S 三河としての活動方針（ドラッカー思想の発展的研究をする）の確認。

「フィードバック分析の実践の記録とプロセスの具体化と体系化」を目的に取り組む。

研究会のすすめ方

仕事の仕方や学び方に違いがあるように、フィードバック分析についても定型的なものがあるという前提よりも各自の主観を重要視する。設定目標の自由、表現方法の自由、評価の自由など条件を設けていない、ただし、管理・分析の利便性を考慮し、記録は Microsoft Excel にて行うことのみ条件とする。

毎回、3～4名が一人20～30分の時間を与えられる。それぞれが行った重大な意思決定とそれについての期待する成果や、その記録方法や評価の仕方などを発表し議論する。8月までの計4回についてはこれを繰り返す。他人の意見を聞くことで、自らの手法を修正・進化させることも可能。その中で、なにか普遍的なものが見出せばよしとする。以降の進行方法については8月に方向性を決める。なお、研究記録用に会議中の発言はICレコーダーで録音をする。今後の日程は5月12日（月）6月9日（月）7月14日（月）8月11日（月）毎月第二月曜日 場所は同じ。人数制限については、会議室の都合等を考慮して10名を定員とする。研究会参加者はフィードバック分析を実践している者、またはこれから始めようとする者でなければならない。

以上